



歴史によって育まれた食を語る

「フランスの食文化」

生きるために食べるのか、食べるために生きるのか

我が国では平成29年6月に文化芸術基本法が改正され、第12条に「食文化」が明記され様々な行事が展開されておりますが、「食文化とは何か」という本質的な部分についての議論が殆どされていないのが現状ではないでしょうか。

当シンポジウムでは、伝統的な食文化に造詣が深いフランス並びに日本の有識者の方々からフランスの食文化についての考え方等を伺い、私達の食文化に対する知識や認識を確かにする機会をつくり、我が国の食文化の継承・発展に資する為の基礎的な指標となればと期待しております。

加えて、それぞれのパネリストから見た我が国の食文化の特徴等客観的な感想を伺えればと思います。

日時 令和元年 10月7日(月) 11:00~12:30 **会場** 上野 精養軒

内容

1 基調講演

株式会社オフィス・オオサワ 代表取締役 **大澤 隆氏**

フランスの食の歴史に造詣が深い食文化史研究者。歴史ある食文化を擁する日仏両国の食への関わりの立ち位置の違いとその理由を語って頂きます。自社の他、多くのフランスの食文化関係団体の役職を兼務している。2017年フランス農事功労章シュヴァリエ受章

2 パネルディスカッション

フランスを代表する食のオピニオンの皆様をパネリストにお招きしフランスの食文化について、一般家庭の食、食産業に従事する方のその認識、食文化の維持と発展のあり方、フランスの方々から見た日本の食文化など幅広い視点での意見を交換して頂くことにより、我が国の食文化の健全なる発展へのヒントとなるよう議論頂きます。

● パネリスト

- | | | | |
|------------------------|-------------------|-----------------------|---------------------|
| ミシュラングループ
シニアアドバイザー | ベルナル・デルマス氏 | 株式会社ベクス
代表取締役社長 | パトリック・オステアー氏 |
| 株式会社ワインと文化社
代表 | 南谷 桂子氏 | 一般財団法人日本食生活文化財団
参事 | 藪 光生氏 |

● コーディネーター **磯村 尚徳氏**
パルクラブ創業者 名誉会長 (日仏経済交流協会)

※ご登壇される方は変更になることもあります。

参加費 お1人 2,000円(財団会員特別料金1,500円) **主催** 一般財団法人日本食生活文化財団

後援 在日フランス大使館/クラブ・プロスペール・モンタニュ日本支部/株式会社精養軒/(公社)全国調理師養成施設協会/全国和菓子協会/(一社)全日本司厨士協会/(協組)全日本洋菓子工業会/トック・ブランシュ国際倶楽部/(一社)日本エスコフィエ協会/日本菓子教育センター/フランス農事功労章協会/フランスレストラン文化振興協会 (50音順)

協賛 株式会社アルカン/池伝株式会社/株式会社イワセスタ東京/ヴァローナジャパン株式会社/サヴァンシアフロマージュ&デイリージャパン株式会社/サンエイト貿易株式会社/株式会社東洋軒/ドーバー洋酒貿易株式会社/中沢乳業株式会社/日仏商事株式会社/有限会社日比谷松本楼/株式会社明治座/ル・クルーゼジャパン株式会社 (予定・50音順)

- ◆ 募集定員 200名(先着順)
- ◆ 申込方法 メール又は往復はがき又はFAXにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号、参加希望人数(1件につき2名様まで、同伴の方のお名前もご記入ください)を明記のうえ、お申込願います。一週間以内に受付確認の連絡を致します。
- ◆ 応募締切 令和元年9月20日(金) 消印有効
- ◆ 申込先 〒104-0045 東京都中央区築地4-2-7-507 一般財団法人 日本食生活文化財団 宛
TEL:03-3541-6622 FAX:03-3541-6652 メール:neki@nsbz.or.jp

※頂きました個人情報は、当シンポジウムの連絡のほか、主催および後援・協賛会社の営業活動に利用させて頂く場合がございます。